

# 認定経営革新等支援機関との情報連絡会議を開催

山梨県中小企業団体中央会  
ものづくり支援センター

ものづくり補助金事業の地域事務局を務めている山梨県中央会ものづくり支援センターでは、9月11日にベルクラシック甲府で、平成27年度のものづくり補助金において公募申請支援を行った認定経営革新等支援機関(認定支援機関)による情報連絡会議を開催した。

本情報連絡会議の開催は、ものづくり試作開発事業に取り組んできた事業者が補助事業終了後にも事業成果を活用し経営力の強化や発展に繋げるための

フォローアップ支援体制を強化するため、関係機関が保有するノウハウや各種情報を共有し支援を着実に行える仕組みをつくることを目的に開催したもの。

当日は、県内11カ所の認定支援機関の担当者に加え、関東経済産業局と全国地域事務局である全国中小企業団

体中央会、山梨県産業技術センター、よろず支援拠点から合計26名が出席した。

会議では、関東経済産業局から、中小企業政策審議会中小企業経営支援分科会の資料に基づき中小企業支援機関の役割等の説明、全国地域事務局から認定支援機関の補助事業者への支援状況及び要望等を調査に基づき説明が行われた。県産業技術センターとよろず支援拠点からは、それぞれが行っている支援内容や施策の活用方法について説明が行われた。

出席した認定支援機関の担当者からは、ものづくり補助金に対する認定支援機関としての課題や問題点、取り組み状況等が説明され、「今後は関係機関と連携を深め、ものづくり補助金に関する情報を共有し、支援に繋げていきたい」などの意見もあり、認定支援機関・関係機関・補助事業者の連携の必要性を再確認することができた。

中央会では今後も引き続き、ものづくり試作開発事業に取り組む事業者へのフォローアップ支援を着実にを行うことのできる環境を整備するとともに、各認定支援機関等に対して積極的に情報を提供することで連携による支援を強化していくこととしている。

